

## < 参考 > 基礎利益の内訳(三利源)

逆ざや額：想定した運用収益(予定利率)と実際の運用収益との差から生じるもの

危険差益：想定した保険金・給付金の支払額(予定危険発生率)と実際に発生した支払額との差から生じるもの

費差益：想定した事業費(予定事業費率)と実際の事業費支出との差から生じるもの

(単位：百万円)

区 分	平成17年度	平成18年度	増減
基礎利益	469,495	497,819	28,324
逆ざや額	122,026	42,644	79,382
危険差益	435,614	423,158	12,455
費差益	155,906	117,304	38,601
キャピタル損益	74,313	59,356	14,956
臨時損益	173,639	201,605	27,966
うち 危険準備金繰入額	173,502	200,002	26,499
経常利益 ( = + + )	221,542	236,857	15,314
特別損益	35,111	29,853	5,258
うち 価格変動準備金繰入額	13,000	14,000	1,000
法人税等その他	38,874	49,386	10,511
当期末処分剰余金 ( = + + )	147,556	157,618	10,061

生命保険会社の剰余は**当期末処分剰余金**( )です。

**基礎利益**( )やその内訳の**三利源**は、**当期末処分剰余金を構成する一部**であり、基礎利益から当期末処分剰余金までの全体の状況をご覧いただく必要があります。

ご契約者への配当は、当期末処分剰余金からお支払いすることとなります。

平成18年度の**当期末処分剰余金1,576億円**は、総代会の決議を経て、**社員配当準備金に1,141億円**繰り入れられます。

将来にわたり健全性を確保するため、保険業法等に基づき**危険準備金**や**価格変動準備金**を積み立てております。その積立に必要な金額は**臨時損益**( )や**特別損益**( )として計上しております。